

## 韓国と日本の大学の違い

国際コミュニケーション学部4年  
石原 未寿加

私は大学生活で第三外国語として韓国語を勉強しました。英語学科に所属していて、第二外国語としてフランス語も学びましたが、カナダ留学で親しくなった韓国人の友達と韓国語で会話したくて、自発的に韓国語を学び始めました。また、言語を学ぶときは言語だけでなく文化と実際の生活習慣も学ぶことが大切だと感じ、韓国の友達を通じて話を聞いたり、実際に韓国に行って文化を体験したりすることで見聞を広げようと努力しました。実際に韓国への留学は叶いませんでしたが、韓国の友達の大学祭に招待されて日本の大学とのいくつかの違いを体験しました。

大学祭では私を招待してくれた友達にさまざまな説明を受けたり、さらに彼女の友人と交流したりしました。韓国の大学祭では学生会が企画し実行します。まず日本の大学祭と違う点は規模です。韓国の大学祭にはアイドルや有名なバンドを招待して公演をする為、アイドルを一目見ようと来る一般人も多いです。

また、韓国の大学にはそれぞれイメージカラーやマスコットキャラクターがあり、それぞれの大学の特性がはっきりしています。私が招待された友達の大学では紫がテーマカラーで、スリヨンという龍をモチーフにしたマスコットキャラクターがいます。また、グッズの種類も日本に比べて多様で、大学や学科毎にユニフォームもあって、私も友達に借りて着てみました。



大学のユニフォーム

次にMT (Membership Training) 文化を紹介します。MTは、同じ学科の学生たちが学期初めに親睦を深めるためのイベントで、各学科の教授も参加し、挨拶をするそうです。各地にMT村という場所があって、そこでBBQやゲームをします。反面、日本の大学では学科規模のイベントは稀で、ゼミと呼ばれる研究会の仲間同士でご飯を食べに行くことはあっても、韓国に比べて規模がはるかに小さいです。



マスコットキャラクター：スリヨン

このように韓国の大学と日本の大学を比較するといくつかの違いを見ることができます。韓国語を言語として学ぶだけでなく、文化と生活様式の違いを学びながら今後さらに多くの知識を積みたいと思います。